

地理歴史科，公民科 授業構成案

1 基礎情報

教科	地歴公民科	科目	日本史B（日本史探究）
主題名（単元）	幕藩体制の確立 主題学習「戦国三英傑に順位をつけよう」		
副題	－物事を比較・対照し，自分で価値を判断する能力を育成する－		
教科書 副教材	『詳説日本史B』（山川出版社） 『新詳日本史』（浜島書店）		

2 資質・能力

ねらい（単元目標）	織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の戦国三英傑について，それぞれの政策や当時の人々への影響などを調査し，「時代を最も動かしたのは誰か？」という観点で考察させるとともに，戦国三英傑について主体的に探究し，中世末期から近世初期にかけての歴史について深く理解させる。	
身に付けさせたい力 （期待される生徒の変容）	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を収集し，情報を読み取る能力 ・周囲の意見を理解し，協調して議論をする能力 ・周囲に対して自分の意見を説明する能力 	
資質・能力 獲得の証拠	要約	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で調べた資料をまとめ，要約する。 ・他者が読み，分かるように文章で表現する。
	協調性	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲ときちんと対話し，自分の意見を伝える。 ・問題解決のために協力して，他者の意見に耳を傾け，議論に参加する。
	説明	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を他者に論理的に説明する。 ・自分の思考した意見を文章で表現し，説明する。

3 指導計画（概要）

	教員の働きかけ（主な発問等）	生徒の活動
指導計画 ①	<ul style="list-style-type: none"> ・教員作成資料①を配布する。 【問①】「この資料に書かれているのは誰のことだろう？なぜ見方が違うのだろう？」 ・教員作成資料②を配付する。 【問②】「戦国三英傑について，“最も時代を動かした”のは誰だろうか？」 【問③】「“時代を動かす”とはどういうことだろうか？」 ・グループに分け，担当の人物を決定する。（グループ分けの方法は，生徒の人数などによって様々さまざまな方法がある） ・グループで「誰がどのようなことを調べるか」を話し合わせる。ワークシート1には「人物」「政治政策」「経済政策」「戦績」など，調べる内容について提示する。三者共通のものにし，比較しやすくする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を読み，誰のことを書いているのか考える。 ・自分が考えた人物と，その理由を答える。 ・“時代を動かす”という言葉の意味を考える。 ・自分が考えた“動かす”の意味を答える。 ・グループに分かれ，調べ学習を行う。 ・グループ内で，誰がどの事項を調べるかを決定する。参考として，教員が配付した資料を活用する。その後，ワークシート1とインターネットを活用し，一人が一つの内容について調べる。

	教員の働きかけ（主な発問等）	生徒の活動
指導計画②	<ul style="list-style-type: none"> 調べてきたことを、班でまとめさせる。調べてきた事で、まとめるのに物足りない部分があればインターネットでさらに調べて書いていくように指示する。 各グループに調べた内容を発表させる。事前に配付したワークシート1, 2, 3を確認するように指示する。 現段階での順位付けをさせる。 【問①】「なぜその人物を1位にしたのだろうか？理由を明確にしよう。」 ワークシート3を提出させる。 今回の順位でグループを新しく組むことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート2を使い、調べた人物についてグループでまとめる。 インターネットを活用し、「三英傑を比較できるようにする」という意識でまとめる。 各グループで調べた内容を発表する。 質疑応答をする。 ワークシート3に現段階で自分が考えた順位を書く。 根拠として、人物・政策・戦など、どのような視点で比較したのかを明確にする。

※教員は生徒の出したワークシートを確認し、「1位にした人物が同じ」という生徒でグループを組む。

	教員の働きかけ（主な発問等）	生徒の活動
指導計画③	<ul style="list-style-type: none"> 新しいグループに分かれ、前回調べた三英傑についての内容を、改めて比較させる。 比較した内容を基に、グループで最終的な順位をつけさせる。 他のグループに対して、自分たちの順位と根拠を発表することを予告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート4を使い、同一の視点から比較する。 比較の際、順位付けの根拠になる資料をグループで確認しておく。足りない部分がある場合は、さらに調べる。 順位付けの根拠（判断規準）を明確にし、グループで議論する。

※生徒は終業後などを活用して、プレゼンテーションの準備をする。（模造紙やマーカーなどは教員が準備）

	教員の働きかけ（主な発問等）	生徒の活動
指導計画④	<ul style="list-style-type: none"> グループの結論を発表させる。 個人での結論をまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> グループで順位付けの理由を発表する。 他のグループの発表をメモし、自分たちの考えとどのように違うのか確認する。 質疑応答をする。 発表を聞いた上で、自分の意見を最終的に決定する。その理由をワークシート5に記述する。 今回の授業について振り返りと相互評価、自己評価を行う。

4 その他

参考資料	<ul style="list-style-type: none"> 『日本史人物辞典』 日本史広辞典編集委員会編 山川出版社 『フロイス日本史 4』 ルイス・フロイス著 松田毅一・川崎桃太訳 中央公論社 『現代語訳 信長公記』 太田牛一著 中川太古訳 新人物往来社 『文禄3年（1594年）4月2日付の直江兼続の書状』 2019年11月9日読売新聞オンライン 『現代語訳徳川実紀 家康公伝5』 大石学・佐藤宏之・小宮山敏和・野口朋隆編 吉川弘文館 『現代訳 三河物語』 大久保彦左衛門著 鈴木邑訳 富士出版
活用が期待されるICT機器・アプリ等 【機】ICT機器、【ア】アプリ	プロジェクター【機】（写真や資料を提示する） インターネット【機】（検索機能）